大阪公立大学
Osaka Metropolitan University
学術情報リポジトリ

女性学研究センター年次報告・2016年度

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-06-23 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10466/15416

女性学研究センター年次報告・2016年度

1．運営体制

所　長　牧岡省吾（人間社会システム科学研究科長）
主　任　伊田久美子
副主任　村田京子、東優子
「女性学研究」編集委員長　浅井美智子
「女性学研究」編集委員　　熊安貴美江
その他共同研究員　青木賜鶴子、秋庭裕、上村隆広、工藤宏司、田間泰子、福田珠己、堀江珠喜、宮脇幸生、山中京子
学外研究員　足立眞理子（お茶の水女子大学）、木村涼子（大阪大学）、高岡尚子（奈良女子大学）、福永真弓（東京大学）、古久保さくら（大阪市立大学）
運営委員（所長・主任・副主任のほか）
真嶋由貴恵（現代システム科学専攻）、ケイン・ケビン（言語文化学専攻）、酒井隆史（人間科学専攻）、児島亜紀子（社会福祉学専攻）
事務職員　伊藤ゆきこ

2．授業

・大学院科目

「ジェンダー論特論１Ａ」「同１Ｂ」（半期各２単位。伊田久美子）
「同２Ａ」「同２Ｂ」（半期各２単位。田間泰子）
「同３Ａ」「同３Ｂ」（半期各２単位。東優子）
「ジェンダー社会学特論」（半期２単位。田間泰子）
「ジェンダー文化特論Ａ」「同Ｂ」（半期各２単位。村田京子）

・専門科目

「ジェンダーと社会」（半期２単位。伊田久美子）
「ジェンダーと社会思想」（半期２単位。浅井美智子）

「ジェンダーと教育」（半期２単位。土田陽子）

「ジェンダー論演習Ａ」「同Ｂ」（半期各２単位。田間泰子）

・教養科目（機構提供科目）

「ジェンダー論への招待」（前期２単位。熊安貴美江・伊田久美子・浅井美智子・山本由美子・工藤宏司・酒井隆史・東優子・大森順子（ゲスト）・田間泰子）

「ジェンダーとヨーロッパ文化」（半期２単位。村田京子）

「ジェンダーと日本文化」（半期２単位。青木賜鶴子）

３．第20期女性学講演会　第１部

「文学とジェンダー」（10月８日／12月３日）

第１回　「文学、モード、ジェンダー」

- 「「服飾小説」としてのゾラ『獲物の分け前』――モード、絵画、ジェンダー」
  講師：村田京子（大阪府立大学教授、女性学研究センター副主任）
- 「プルースト『失われた時を求めて』――モードから見る三人のヒロインたち――」
  講師：長谷川富子（神戸海星女子学院大学名誉教授）

＊第１回は、大阪府立大学人間社会システム科学研究科「文学とジェンダー」共同研究プロジェクト共催

第２回　「坊やは人気者？――物語における女児と男児について比較文学的に考える――」
講師：堀江珠喜（大阪府立大学教授）

４．第20期女性学講演会　第２部

女性学連続講演会・連続セミナー

「家事労働の新たな局面：女性の労働と外国人家事労働者」

共通テーマにより、講演会およびセミナーを３回（10月29日、11月26日、12月25日）にわたって実施。

コーディネーター：
伊田久美子（大阪府立大学教授、女性学研究センター主任）

第１回 「フェミニズムにおける家事労働論の展開と女性労働問題」
講師：伊田久美子（大阪府立大学教授、女性学研究センター主任）

第２回 「日本への家事労働者受け入れをめぐる課題」
講師：藤本伸樹（一般財団法人アジア・太平洋人権情報センター（ヒューライツ大阪）研究員）
「日本で有償家事労働を経験して…有償家事労働について考える」
講師：栗田隆子（働く女性の全国センター代表）

第３回 「「家事労働」の国際労働基準を考える――ILO189号条約の意義と課題」
講師：伊藤るり（一橋大学大学院教授）

５．女性学研究コロキウム

第１回 「代理出産――繁殖階級の女？」上映会＆コロキウム
（2017年２月18日開催。於大阪府立大学I-site なんば。）
講師：柳原良江（東京電機大学助教、代理出産を問い直す会代表）
浅井美智子（大阪府立大学教授）
主催：大阪府立大学女性学研究センター
科研基盤研究（C）「非配偶者間生殖の新しいフレイム構築に関する研究」
協賛：代理出産を問い直す会

第２回 浅井美智子教授最終講義 退官記念講演
「思想としてのリプロダクション
――ルソーからフーコーを超えて――」
（2017年３月29日開催。於大阪府立大学中百舌鳥キャンパス。）

6．国際交流事業

ワークショップ「女性の社会参加、隠された貧困、人の移動とケアワーク：台湾と日本の場合」

（本センター後援事業の台湾スタディツアーの一環として９月６日に開催。於台湾大学。）

報告者：

黄長玲（台湾大学教授、婦女研究室主任）

藍佩嘉（台湾大学教授、婦女研究室研究員）

伊田久美子（大阪府立大学教授、女性学研究センター主任）

藤本伸樹（一般財団法人アジア･太平洋人権情報センター（ヒューライツ大阪）研究員）

主催：台湾大学婦女研究室

台湾大学社会科学院

一般財団法人アジア･太平洋人権情報センター（ヒューライツ大阪）

大阪府立大学女性学研究センター

7．男女共同参画事業

シンポジウム「カウントされない生／命」（７月16日開催。於大阪府立大学中百舌鳥キャンパス。）

講師：山本由美子（大阪府立大学講師）

居永正宏（大阪府立大学客員研究員）

梅田直美（奈良県立大学講師）

浅井美智子（大阪府立大学教授）

主催：大阪府立大学女性学研究センター

科研基盤研究（C）「非配偶者間生殖の新しいフレイム構築に関する研究」

8．図書・文献資料の収集

例年どおり、外国語文献資料ならびに新刊邦語文献を中心に収集した。諸雑誌の購読も継続している。

９．その他

［後援事業］

• ジェンダー講演会「19世紀の女性芸術家と女性知識人――書簡にみる女性たちのネットワーク」（５月24日開催。於奈良女子大学。）

講師：ブリジット・ディアズ（カーン・ノルマンディ大学教授）

主催：奈良女子大学アジア・ジェンダー文化学研究センター

• 大阪府立大学教育福祉研究センター公開講座

「女性の相談・支援現場から見える貧困」（７月31日開催。於大阪府立大学 I-siteなんば。）

報告者：中村保子（大阪府立女性自立支援センター 支援員）

上村英（大阪府社協社会貢献推進室 社会貢献支援員）

小川裕子（救護施設ホーリーホーム相談員）

司会・助言者：山中京子（大阪府立大学教授）

主催：大阪府立大学教育福祉研究センター

大阪府立大学地域保健学域教育福祉学類

ソーシャルワーク開発研究所

大阪府立大学社会福祉学会

• スタディツアー「台湾の人権とエンパワメントに出会う旅　台北＆高雄を訪ねて」（９月４日～８日開催。）

現地企画協力：一般財団法人アジア・太平洋人権情報センター

（ヒューライツ大阪）

＊　＊　＊

今年度も無事に予定の事業を終了できました。みなさまのご協力に心より感謝申し上げます。なお、今年度より研究科名称が変更され、本センターも人間社会システム科学研究科附置センターとなりましたことをお知らせします。

名称変更はともかく、活動趣旨に変更はありません。引き続き女性学・ジェンダー研究の推進による男女共同参画社会の実現をめざす活動に、学内外の諸機関等と連携しながら取り組んでまいりました。

今年はアジア・太平洋人権情報センター（ヒューライツ大阪）のスタディツアーの一環として、台湾大学婦女研究室との交流ワークショップを台湾大学にて開催することができました。国会議員のほぼ40％が女性という先進的政治状況を実現している台湾の政策と運動の現状には大いに感銘を受けるとともに、日本の課題の大きさを思わずにはいられませんでした。台湾の元気な女性たちとの交流にパワーをもらうことができました。女性学研究センターの国際交流事業はこのところ厳しい予算措置によって、独自にすすめることが難しい状況にありますが、さまざまな機会を捉えて積極的に取り組む努力をしたいと考えています。

また連続講演会では、家事労働問題に焦点を当て、大阪の家事労働特区についてもとりあげました。まだまだ関心の薄いテーマではありますが、家事労働は女性労働問題の土台を構成しており、それが有償家事労働者問題として顕在化しつつあります。今回の問題提起をさらに展開していく必要を痛感しています。

本誌への投稿はますます増えていますが、浅井美智子編集長、熊安貴美江編集委員の下、共同研究員のみなさまに査読のご協力をいただき、今年度も無事３本を掲載することができました。厳しくも温かいご指導に感謝申し上げます。今年度でご退職となる浅井美智子さんには、今期も女性学研究編集に加え、男女共同参画シンポジウム、代理母問題についての映画上映会等々、たくさんのご貢献をいただき、感謝に絶えません。重ねて御礼申し上げます。

今年度は女性学研究センターの国内外での広報のため、パンフレット（日本語版と英語版）を作成しました。今後の国内外における広報や研究交流に役立てていく所存です。大学のご理解とご配慮に感謝します。

おかげさまで、ジェンダーは本学教育研究の特色のひとつであるといえる実績を積み重ねてきていると自負しております。今後は大阪市立大学人権問題研究センターで女性問題に取り組む研究者のみなさまとの連携を一

層深めて、新たな展開を準備していきたいと考えています。今後ともセンターの活動へのご注目をよろしくお願いいたします。

女性学研究センター
主　任　伊田久美子
副主任　村田京子、東優子